

報道関係者各位

20kg 痩せてもシステムは正しく反応するか 顔認証システムの挑戦 システムは同一人物を正しく認証出来るか検証 社内の健康促進企画と連動し 3 カ月プロジェクトで実証

セキュリティ機器及びセキュリティシステム的设计、開発を行う株式会社セキュア（本社：東京都新宿区代表取締役社長：谷口 辰成）は、当社が販売している顔認証システムFaceStation2（フェイスステーションツー）、FaceTracker（フェイストラッカー）、ならびにスマートフォンを使用して体重と顔認証の可否を問う定点観測、「顔認証システムの挑戦～ダイエット後の人を正しく認証できるか～」を実施しています。



ダイエット前・後

■概要

当社の3カ年計画の骨子であるセキュア顔認証 No.1 の実現に向け、当社は販売する FaceStation2、FaceTracker ならびにスマートフォンを使用した顔認証システムが、ダイエット効果により見た目が大きく変化した人物の顔を正しく認証できるかを検証しました。



当検証は、取引会社からの「メイクの変化や体重の増減など外見が変化した場合は正しく認証されるのか」などの質問に対して、実際の技術の裏付けを取るために実施しました。また、社内では健康促進企画がスタートするタイミングでもあり、当検証と企画を連動し実施することを決定しました。

目標は現状からマイナス 20 kgを設定し 2018 年 4 月よりダイエットを開始しました。その結果ダイエット開始 3 カ月でマイナス 20 kg 減を達成した時点で入退室の測定をしたところ問題なくシステムは作動しました。

顔認証システムは、一般的に顔器官（目、鼻、口など）の特徴点を検出し、登録された顔特徴との類似度を比較して認証を行います。このような見た目の変化にも問題なくシステムが正常に作動した実証は、今後、当社の財産にもなりうる貴重な検証結果となりました。

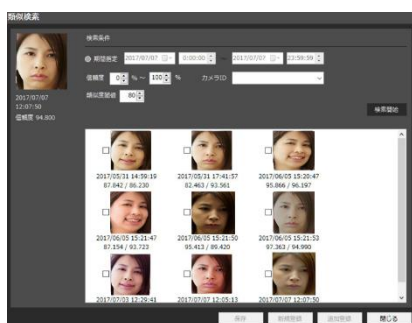


FaceTracker による
ダイエット前の顔認証 2018年4月10日



FaceTracker による
ダイエット後の顔認証 2018年6月12日

■顔認証システムの今後



顔認証は生体認証による指紋や静脈認証と違い、カメラに顔を合わせるだけで認証が行えるなどの手軽さがストレス減となり、利便性があります。今後はシステム技術と運用レベルの向上により、さらに利便性が高くなります。スマートフォンやピンコードから顔認証が可能になり、買物などでの決済や、24時間フィットネスジムや無人店舗での会員証の使いまわし防止を目的とした導入の動きが加速していくと考えられます。

【会社概要】

会社名 : 株式会社セキュア
 代表 : 代表取締役 谷口 辰成 (たにぐち たつなり)
 本社所在地 : 東京都新宿区西新宿二丁目 6-1 新宿住友ビル 20F
 TEL : 03-6911-0660
 URL : <http://www.secureinc.co.jp/>
 設立年 : 2002年10月
 資本金 : 2億2700万円
 従業員数 : 55人
 事業内容 : 各種セキュリティ機器及びセキュリティシステムの設計、開発、
 コンサルティング、販売レンタルサービス、施工、保守
 年商 : 13億8000万円

<本件に関するお問い合わせ先>

セキュア広報事務局 担当:原田 (はらだ)

TEL : 03-5411-0066 FAX : 03-3401-7788

携帯 : 080-3121-4241 メール : pr@netamoto.co.jp

【製品概要】

FaceStation2 (フェイスステーションツー)



最先端の顔認証アルゴリズムを搭載した多機能

IP ターミナル。「顔」を認証に使うことでハンズフリーの生体認証を実現。「顔」を使えば、ハンズフリーでスピーディ&正確な認証両手にたくさんの荷物で、手が使えないときも、FaceStation2 の前に立ちどまり、顔を見せるだけでそのまま認証が完了します。なりすまし防止効果も高く、ハンズフリーな分、認証に必要な時間も短くなります。また認証の際、ターミナルに触れなくても良いので、たいへん衛生的であります。

FaceTracker (フェイストラッカー)

フェイストラッカーは、高精度の顔認証技術により、監視カメラ映像に映った人物をすぐ特定し通知することができるシステムです。建物や店舗のエントランスやサービススペースへのゲートなど利用者が立ち止まらない場所においても、人物の顔を監視カメラで捉え、その顔画像を高速で解析し、個人を特定することができます。



●主な特長

①ウォークスルー認証 -監視カメラ映像を高速で画像解析-

フェイストラッカーは、監視カメラ映像で捉えた人物の顔を高速に解析します。

施設や店舗のエントランスなど利用者が立ち止まらない場所でも個人を特定することができます。

②複数人数を同時認証 -1台のカメラ映像で最大5名の顔認証を実現-

フェイストラッカーは、1台のカメラ映像の中で最大5名を同時に認証することができます。

複数の利用者が同時に通る場合でも対応可能です。

③システムの拡張性 -既存の監視カメラシステムの活用が可能-

フェイストラッカーは、監視カメラシステムとの連携が可能です。

施設に設置している監視カメラやレコーダーを活用したシステム構成が可能です。

④リアルタイム通知 -顔認証結果を手元のデバイスへ即座に通知-

登録された人物が認証された場合、あらかじめ設定されたデバイス (PC、モバイル、アラームなど) に、システムが認証した結果情報をリアルタイムで通知します。